

昌子の広場 第27報

2003.12月号



和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

Tel(Fax) 0725-54-2626

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/yoitikob/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます。

<この会報は再生紙を使用しています>

>



目次	
・泉州東部農用地問題	P1
・自治体議員勉強会 in ヨーロッパ視察報告	P2
・和泉市14年度決算出る	P3
・住基カード、昌子の広場	P4

**自然を破壊 泉州東部農用地
建設続く不釣り合いな道路!**

和泉市の皆さん。ご存じですか? 和泉山麓に森林を切り開き、道路を作り 農用地を造成していることを!

東部農用地整備事業計画変更 増大する事業費・問われる計画!

緑資源公団は和泉市の南部山麓の善正、福瀬、坪井、小川東、小川西の5地区で農用地の整備を進めています。この事業は泉州南部農業（特に畑作）の振興を目的として展開されているものです。しかし山を切り開き、大型バスでもすれ違い出来るような舗装道路を莫大な事業費を投入して進めるような事業が今必要なのでしょうか。

和泉市の皆さん。一度現地に行ってみて下さい。山がどんどん切り開かれ、突然現れる不釣り合いな道路にきっと驚かれ、こんな事業が果たして莫大な税金を投入して行う事業なのか、疑問を持たれると思います。

特にこの事業費の7割以上を占める農道は、並行して走る国道170号線を活用すればすむことです。

この事業を行っている緑資源公団は森林開発公団（1956年設立）が1999年10月に名称変更したもので、行政改革の度に役割の終わった不要な公団と指摘されながら、農用地整備公団を吸収し焼け太りしたものです。その緑資源公団が行う「大規模林道」事業は、29路線・3支線、計32路線、総延長2256.3キ口、総事業費1兆円を投じて奥地山岳地帯に大型バスもすれ違える幅員7メートルの舗装道路を造っている公団です。



(建設中の道路)

無駄な公共事業の典型で事業のための事業としか思われません。私たちの貴

重な税金がここでも無駄に使われているのです。この泉州東部農用地整備事業の事業費が増大することが明らかとなりました。この事業について私は保水力のある緑を破壊し、その一方で洪水対策として槇尾川ダムを造るという一貫性のない政策に強く抗議して参りました。その事業費が当初の249億円から今回299億円と50億円も増加することが明らかとなりました。

泉州東部農用地事業費

(単位百万円)

	事業費			和泉市負担増
	当初	今回	事業費増加	
和泉市分				
区画整理	2,793	4,056	1,263	221
農用地造成	1,815	2,200	385	58
農業用道路	8,844	9,976	1,132	189
計	13,452	16,232	2,780	468
全体事業費	24,900	29,900	5,000	

和泉市の負担増は上表のように468百万円です。この事業は全体事業費299億円の半分以上が和泉市の事業です。今回の負担増を入れても和泉市の負担の総額は27億円。補助金で10倍以上の事業が当地で興せると考えての事業誘致とも考えられますが、補助金を多く取ったが勝ちの感覚はもはや時代遅れ。何れにしても私たちの税金に違いはありません。このような無駄を許していいのでしょうか。

(削り取られる山肌)



自治体議員勉強会inヨーロッパに参加

視察報告その1 環境都市 フライブルク

10月末から自治体議員勉強会でヨーロッパに行きました。
(公務ではありません。当然私費での視察です。)

<視察の目的等は>

- ・ドイツ フライブルク市 環境行政
- ・デンマーク ヘルシンゲア市 福祉行政
- ・オランダ ユトレヒト市 高齢者市民活動

等が主なものです。

これから数回にわたって視察報告をさせていただきます。

まず第1回は環境都市フライブルク市の視察報告です。

フライブルク市役所訪問

ドイツ南西部に位置するフライブルク市は日本でフライブルク詣でという言葉があるほど、環境都市として有名な町です。

西にフランス、南にスイスと国境を接し東に黒い森(シュバルツヴァルト)をひかえる人口20万人強の町です。



自治体議員勉強

会の一行14人はフライブルク市の環境政策を勉強するため、市役所を訪れ、環境局長で物理学者でもあるディーター・ベルナーさんにお話を伺いました。



以下その要点を報告します。
フライブルク市は1992年ドイツ環境都市100の中で1位となりました。これ

には二つの要因が考えられ、その一つはドイツで初めてNGO、NPOが中心となって原子力発電所の建設を中止させたこと。その二つ目は自然が豊かで市民生活と緑が調和し、徒歩か自転車で10~15分で必ず森にたどり着ける素晴らしい環境があったことが挙げられます。

この市には15年前にドイツ初の環境保全局が設置され、人員は60人。学術、化学、地学を修めた人が中心で1990年には環境担当の副市長が誕生しました。

環境対策の中心は交通対策、エネルギー対策、廃棄物対策であり、以下その要点について報告します。

交通対策 - 車の規制

路面電車・路線バスを拡張し、車利用者を公共交通にシフトする政策を実施。

バス・電車の総

延長は300

0 Kmに達し、

地域定期(1ヶ月

で5000円

弱)を発行、乗

客の90%は持

っている。これ

はRegiokarteと

いう格安、乗り放題、貸し放題の画期的な地域定期券で、

この定期券で、地域の鉄道、トラム、バスすべて乗り放題

です。



又週末には家族全員乗り放題のユニークなものである。

更に市電の延長、路面緑化(CO2と振動対策)、パーク&ライド方式、低床車両の導入などを推進しています。

又自転車道は450 Kmを整備。人的交

通の内33%は自転車。

エネルギー対策

エコステーションはドイツ最大の環境NPO「BUND」が建設、運営している環境教育推進センターです。建物の材料は木、土、ガラス。太陽熱、太陽光発電、雨水を最大限利用した低エネハウス。北側は土に埋もれ、南側はガラス張り、少し離れて太陽電池パネルが設置されています。屋根の上には草が生い茂り、真ん中の飛び出した明かり



取り部分から光が射し込み、電気はつけてなくても室内が

明るい。



<エコステーション内にて>

和泉市平成14年度決算出る

決算状況 (単位百万円)

	H14年度	H13年度	差	評価
歳入総額(a)	57,300	57,370	-70	ほぼ横ばい
歳出総額(b)	56,810	56,858	-48	ほぼ横ばい
形式収支(a)-(b)=c	490	512	-22	ほぼ横ばい
翌年度繰越財源(d)	14	126	-112	ほぼ横ばい
実質収支c-(d)	476	386	90	やや改善
経常収支比率(%)	95.1	93.1	2.0	悪化
地方債残高	85,878	78,504	7,374	悪化
基金残高	10,082	12,340	-2,258	悪化

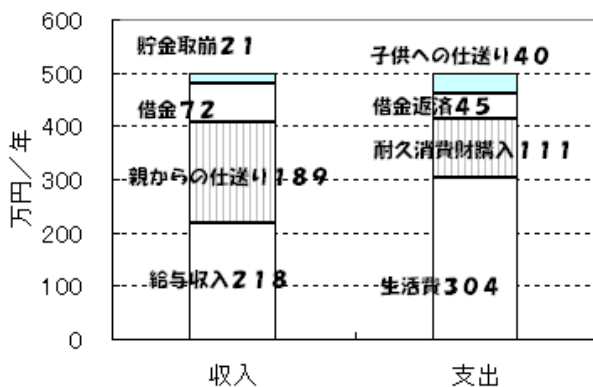
和泉市の14年度決算の概要を上表に示します。収支は黒字でまずまずの決算とみれますが、中身は大変厳しい状況です。財政の硬直化を示す経常収支比率はじわじわ悪化し、都市での望ましい数値である75-80%を大幅に突破しています。

更に借金である地方債残高も一挙に74億円も増加、これに反し貯金である基金残高は20億円以上も減少しています。このような内容の決算であります。

この決算を年間500万円規模の家計に例えますと、以下のグラフとなります。

まず収入ですが、ベースの収入である給与収入は僅かに

和泉市の財政を家計に例えたら



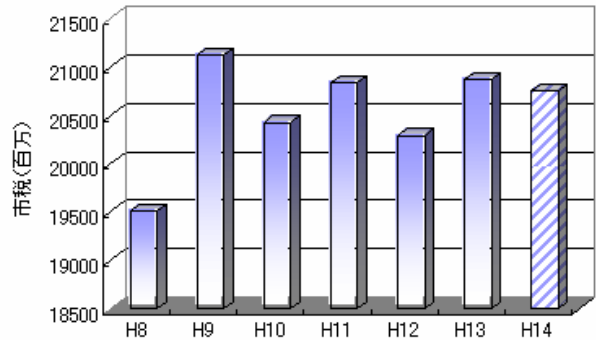
200万円強。これに対しほぼ同じ程度を親からの仕送りに頼り、更に借金と貯金の取り崩しで収入を維持している火の車の家計です。

一方支出は、減らすことの出来ない家計費が全体の6割、先まで使える耐久消費財に2割を支出、それに借金の返済と子供への仕送りにそれぞれ1割を支出しています。借金を返しながらそれを上回る新たな借金をしなければならぬサラ金地獄のようです。

この結果貯金は減少し90万円、借金は増加し770万円。この状態を市民の皆様はどのようにお感じになれますか。次いでその中身を・市税収入・経常収支比率・市債残高についてその推移を見てみますと、市税収入は人口の増加に支えられ伸び続けていましたがH9年を境に減少に転じています。

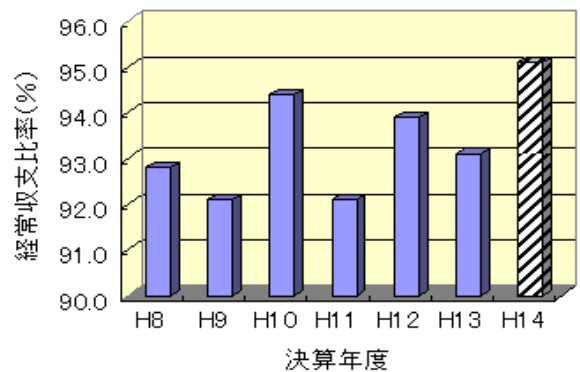
今後の財政運用は市税の伸びを期待した計画ではもはや成

減少する市税収入
H9年を境に減少傾向続く



り立たない時に来ています。上のグラフが市税収入の減少を表しています。次に経常収支比率は常に90%を超えており、徐々に大きくなってきています。このことは家庭でいえば生活費やロー

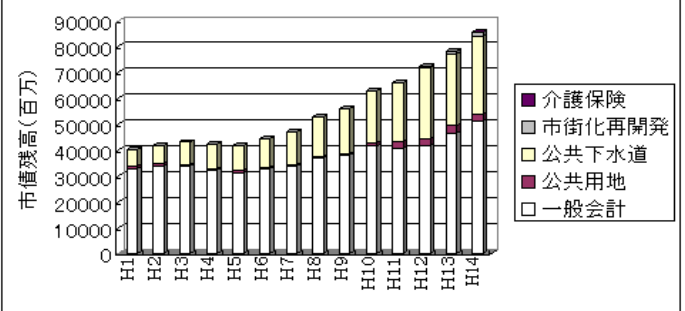
経常収支比率の推移



ンの返済などで精一杯で、前向きな事には手が出せない状況といえます。

更に深刻なのが市の借金である市債残高の増加です。平成5年頃から市債の残高は増加の一途であり、このまま放置すると早晩1,000億に達することも十分予想されま

累増する債務
市民一人あたり50万円を超える借金



す。このように当市の財政は決して楽観出来るような状況ではありません。更なる行財政改革が焦眉の課題です。この会報にもありますように、泉州東部農用地の開発、住基ネット、更に槇尾川ダム建設等無駄な費用を徹底的に削減しこの難局を克服する必要があります。

伸びない住基カード



左の数字の 91 は 11 月 20 日現在での住基カードの発行枚数です。既にほぼ 3 ヶ月を経た段階で計画枚数 4500 枚の僅か 2 % に止まっています。

月	発行枚数
8月	24
9月	41
10月	21
11月	5

左の表は住基ネット 2 次稼働からのカード発行枚数です。ギリ貧の状態です。そのまま進めば早晩発行枚数がゼ

口になるのもそう遠い先とは思われません。所詮住民票の広域発行のための住基カードなど全く無意味であることをこの発行枚数が示しています。前回もご報告しましたように、このカード発行には和泉市だけで 14 年度末まで人件費を除いて約 5 千万の開発費、運営費はこれも人件費を除いて年間 500 万円が必要となります。100 枚余りの発行にこれだけの費用をかけるなど全く論外ではありませんか。

昌子の広場

衣類提供のお願い

ホームレスの皆さんに定期的に衣類の提供を続けています。ご不要になった衣類の提供をお願いします。たくさんの方々のご協力を頂いております。皆様のご好意は既に 6 回目をお届けしました。出来れば男性大人用の衣類を希望しています。これから厳しい冬を迎え毛布なども歓迎です。宜しければお家まで引き取りにお伺いします。ご協力頂けます方は

Tel 0725-54-2626 小林迄ご連絡下さい。

< 昌子の日記から >

- 11/1-2 近畿自治体議員勉強会 in ヨーロッパ合宿
- 11/3 和泉市民文化祭
- 11/4 釜ヶ崎へ衣類搬入、小地域ネットワーク
- 11/5 議会便り編集委員会、事務所運営委員会
- 11/6 DV 講座
- 11/7 和泉中央駅会報配布、緑ヶ丘会報ポスティング
- 11/8 社会福祉の集い
- 11/9 里道清掃
- 11/10,11 ヨーロッパ合宿報告書作成
- 11/12 和泉中央駅会報配布、財産評価審査会、市政相談
- 11/13 和泉中央駅会報配布、ちぎり絵展準備
- 11/14 和泉中央駅会報配布、100 人委員会定例会

- 11/15 パート均等待遇ウォーク
- 11/16 どんぐり祭り
- 11/17 和泉中央駅会報配布、適正就学審議会
- 11/18 和泉府中駅会報配布、リサイクル研修会
- 11/19 信太山駅会報配布、ベガサス訪問看護ステーション
- 11/20 EM 交流会
- 11/21 議員研修会
- 11/22 槇尾川ダム現地案内、犬のしつけと飼い方教室
- 11/23,24 万葉一泊研修
- 11/25 泉北水道視察(徳島第十浄水場)
- 11/26 泉北水道視察(淡路広域水道企業団) 市政相談
- 11/27 北信太駅会報配布、市民ネット会派会議
- 11/28 光明池駅会報配布、和泉中央駅花植え、グリーン勉強会

< 事務所行事 >

万葉講座

- ・講師 大高勇さん いずれも午後 2 時より
- ・会費 3 回で 1,000 円
- ・20 回 10/11(土) (済み) 永遠の別れ
- ・21 回 11/23,24(土、日) (済み) 一泊万葉の旅
- ・22 回 12/13(土) 山陰の旅(Part2)

ちぎり絵講習会

- 講師 西原志満子さん
- ・12/10(水) 13:~16:
- ・参加費無料 但し材料費は実費 1000 円程度

パソコン講座(無料)

- ・毎週 木、土曜日 14 時から
- パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく。word、excel、一太郎お悩みの方もどうぞ初めてこられる方はご連絡下さい
- Tel 0725-54-2626

市政相談会を開いています

- ・第 2, 4 水曜日 20 時 ~ 21 時 30 分
- ・場所 小林昌子事務所
- お気軽にどうぞ!

< 次回議会日程 >

日程	会議	場所	時間
12月1日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後1時~
12月8日(月)	本会議(議案審議)	議場	午前10時~
12月9日(火)	民生企業委員会	委員会室	午前10時~
12月10日(水)	産業建設委員会	委員会室	午前10時~
12月11日(木)	総務文教委員会	委員会室	午前10時~
12月12日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時~
12月17日(水)	本会議(一般質問)	議場	午前10時~
12月18日(木)	本会議(一般質問)	議場	午前10時~
12月19日(金)	本会議(議案審議)	議場	午前10時~